

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	佐久地域の高校生とご当地グルメの連携で、地域食文化の継承と地域担い手育成事業
事業主体 (連絡先)	信州佐久安養寺らーめん会 佐久市猿久保 805-1
事業区分	(3) 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,609,400 円 (うち支援金: 1,270,000 円)

事業内容

佐久地域各校の高校生と安養寺らーめん会員がコラボレーションで開発した、地域食材を利用した創作ラーメンを佐久市駒場公園の会場で競演販売を実施。地域食材や食文化を知るなど、高校生にとって有意義な体験学習の場となった。

第1回「高校生、佐久ラーメン甲子園」概要

開催日/平成30年10月6日(土) 午前10時から午後4時まで

場 所/佐久市中込 駒場公園 さく市会場

参加校/佐久地域の高校3校4チーム(20名)

- ・岩村田高校(5名) サポート店: とんちき麺
- ・蓼科高校(5名) サポート店: 光志亭
- ・佐久平総合技術高校浅間キャンパス(4名)
サポート店: 助屋
- ・佐久平総合技術高校臼田キャンパス(6名)
サポート店: 文蔵

販売ラーメン/

- ・岩村田高校(まるごと がんちき麺)
- ・蓼科高校(白濃塩ラーメン)
- ・佐久平総合技術高校浅間キャンパス(鯉竜
スペシャルラーメン)
- ・佐久平総合技術高校臼田キャンパス(信州
黄金らあめん)

結 果

優勝/岩村田高校(4.729点) 準優勝/蓼科高校(4.525点)

3位/佐久平総合技術浅間(4.423点) 4位/佐久平総合技術臼田(4.336点)



【販売の様子】

事業効果

①当日は、大勢の参加高校生の家族や友達、また、学校の教職員、出身OB、OGが来場し、ラーメンを購入し投票するという効果があった。(4校合計1062杯販売 投票数896票 投票率84.37%)

②佐久商工会議所、佐久市主催の「さく市」は2日間で来場者52,000人 初日のラーメン甲子園開催日の来場者は、24,000人であった。

③未来の起業者、就業者が佐久の産業の一端を体験して、将来の方向性を決める動機づけ機会となる。
(将来調理師や飲食業を志す参加者が3人居た)

④マスコミなどで参加高校が取り上げられ、学校の活性化に繋がった。

- ・10月8日 ABN「abnステーション」放送
- ・10月17日 NHK「イブニング信州」放送
- ・10月18日 テレビ信州「ゆうがたゲット」
- ・10月7日 信濃毎日新聞朝刊1面記事ほか各社

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

参加高校数を増やすようにしていきたい。それには、企画主体となり、高校生と二人三脚で地域食材を勉強し、ラーメン開発をサポートする、安養寺らーめん会員の増強努力も同時に行う。

今後も佐久地域の高校生、中学生、小学生の地域学習や体験学習のために協力していく。

【目標・ねらい】

- ①高校生に地域食材の知識を得て欲しい
- ②大勢の人に高校生の作ったラーメンを食べて欲しい。
- ③この機会に高校生に就業観を身につけて欲しい
- ④参加高校の活性化をもたらす

※自己評価【 A 】

【理由】

- ①イベント当日は、1000杯以上の販売があり、多くの人に高校生の努力する姿を実感してもらい、OB・OGからも沢山の声を掛けてもらった。
- ②高校生が地域食材や食文化を学ぶ機会となった。
- ③マスコミから多くの取材を受け、参加高校に注目が集まった。
- ④将来の職業選択に役立った高校生が居た。(3名)

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある